

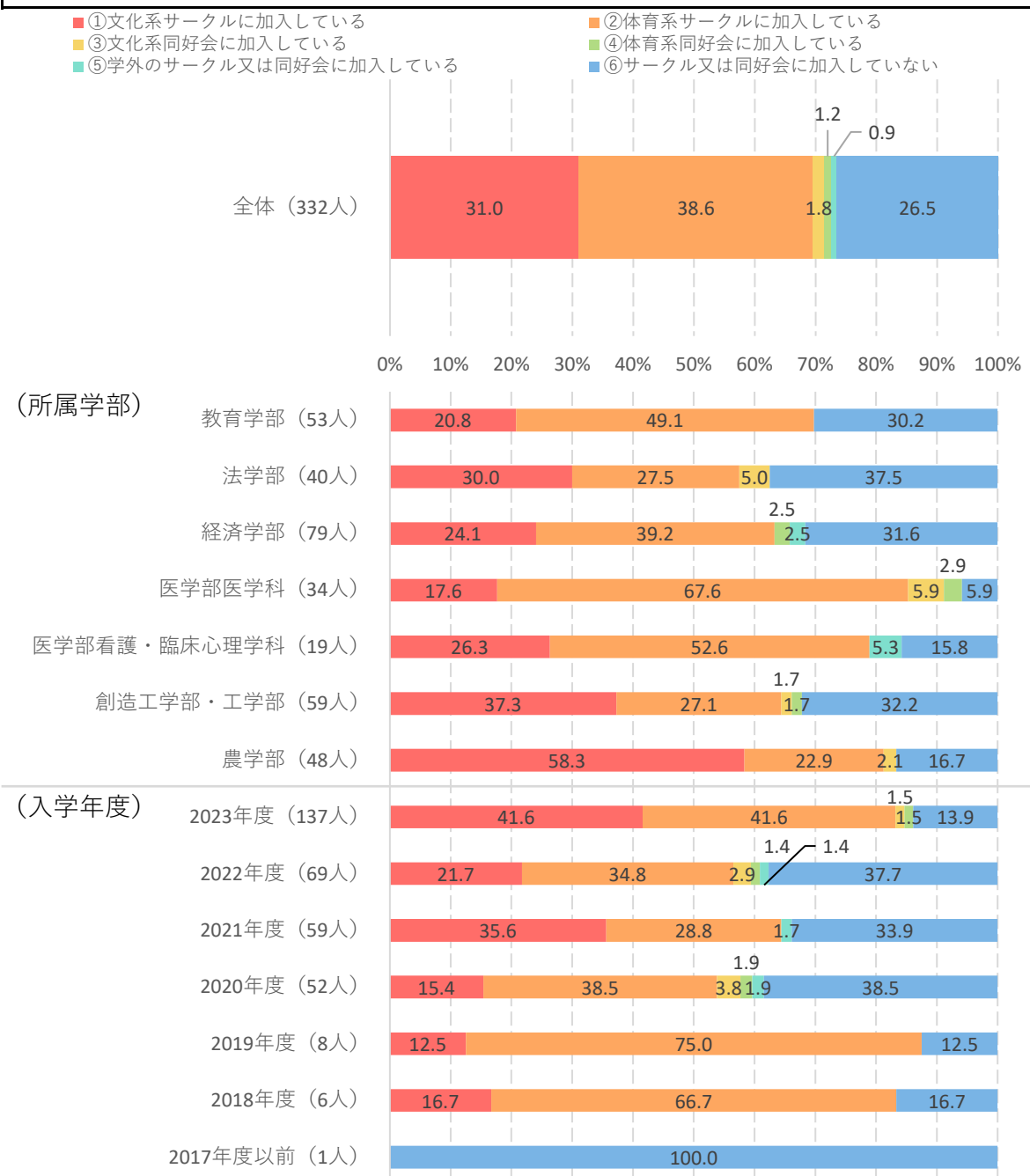
## 2 課外活動

### (1) サークルへの加入

問30 あなたはサークル又は同好会に加入していますか。

学内外問わずサークル等の課外活動に加入している学生は全体で70%超で、前回調査と同程度でした。ただし、所属学部により加入割合に差があり、最も高いのは医学部医学科の94.1%で、最も低い法学部（62.5%）と約30%の差がありました。また、入学前に新型コロナによる行動制限の影響を強く受けたと推察される2021から2022年度入学生にかけて減少傾向が認められました。

サークルの加入割合は同好会より圧倒的に多く、体育系の方が文化系より若干多い傾向にありました。



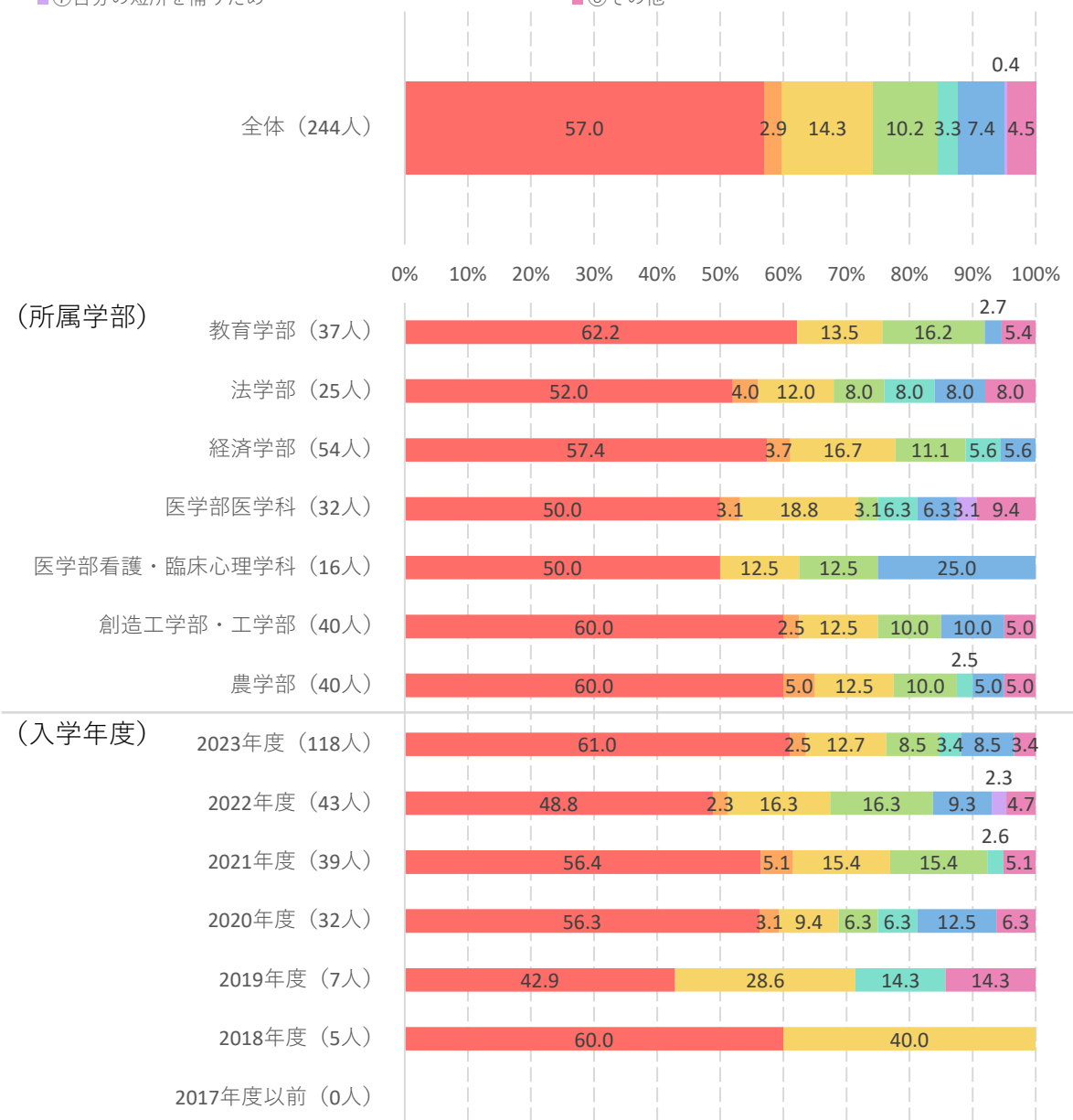
(2) サークルに加入した理由

問31 サークル又は同好会に加入した動機は何ですか。

サークル等の活動へ加入した理由について、半数以上の学生が活動内容に魅力を感じて加入していました。また、次に多い理由は「友人を得るため」、次いで「先輩・友人に薦められて」でしたが、どちらも10%程度でした。

加入割合が低い傾向にあった2021から2022年度入学生の加入理由も、同様の傾向でした。医学部看護・臨床心理学科の学生において「自分の特技を伸ばすため」という理由を選択する学生が25%存在し、入学以前からの活動を継続しているのではないかと推察されました。

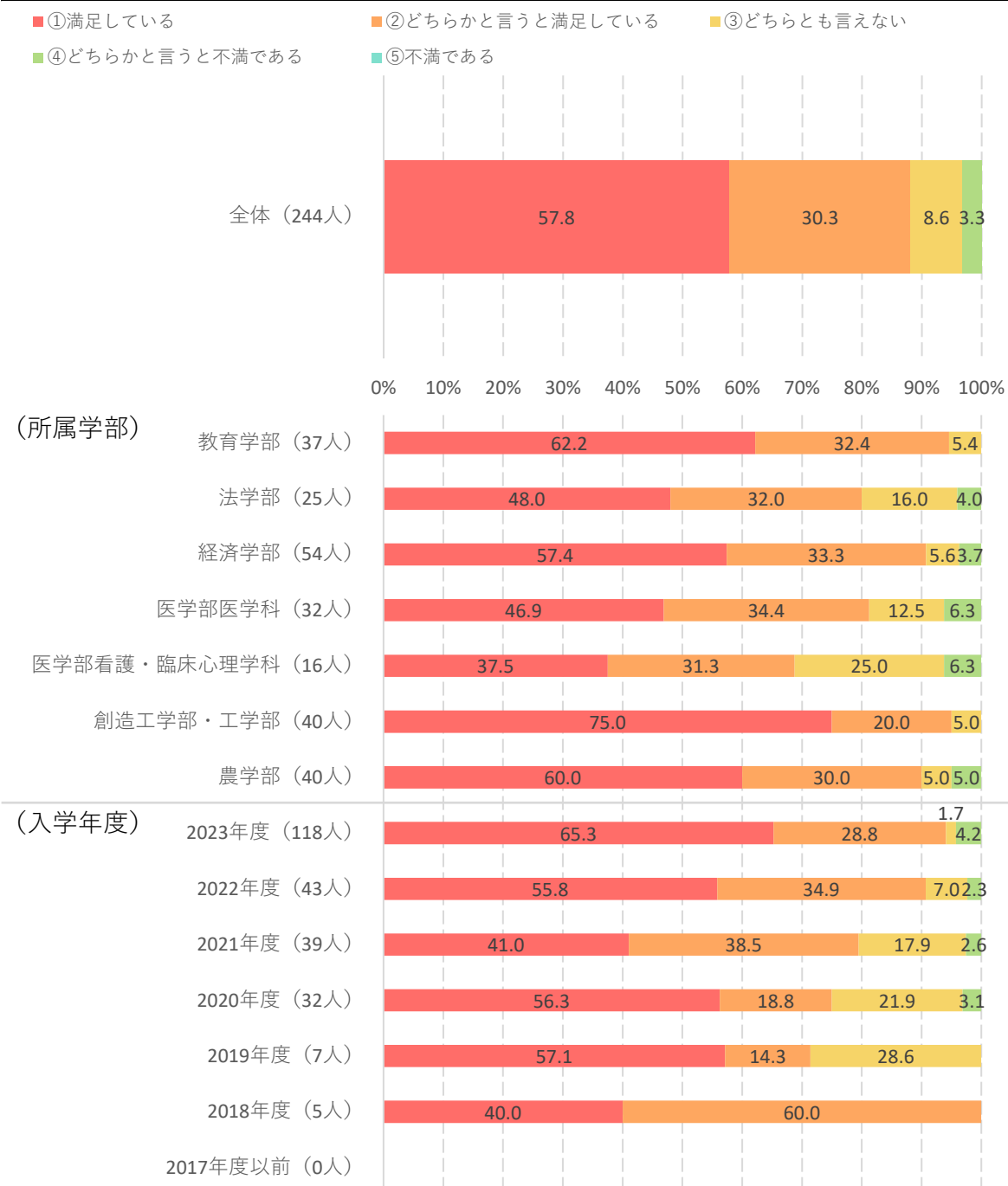
- ①サークル又は同好会の活動内容に魅力があったから
- ②集団活動に魅力があったから
- ③友人を得るため
- ④先輩・友人に薦められて
- ⑤健康増進のため
- ⑥自分の特技を伸ばすため
- ⑦自分の短所を補うため
- ⑧その他



(3) サークル活動の感想

問32 サークル又は同好会の活動に参加してどのような感想を持っていますか。

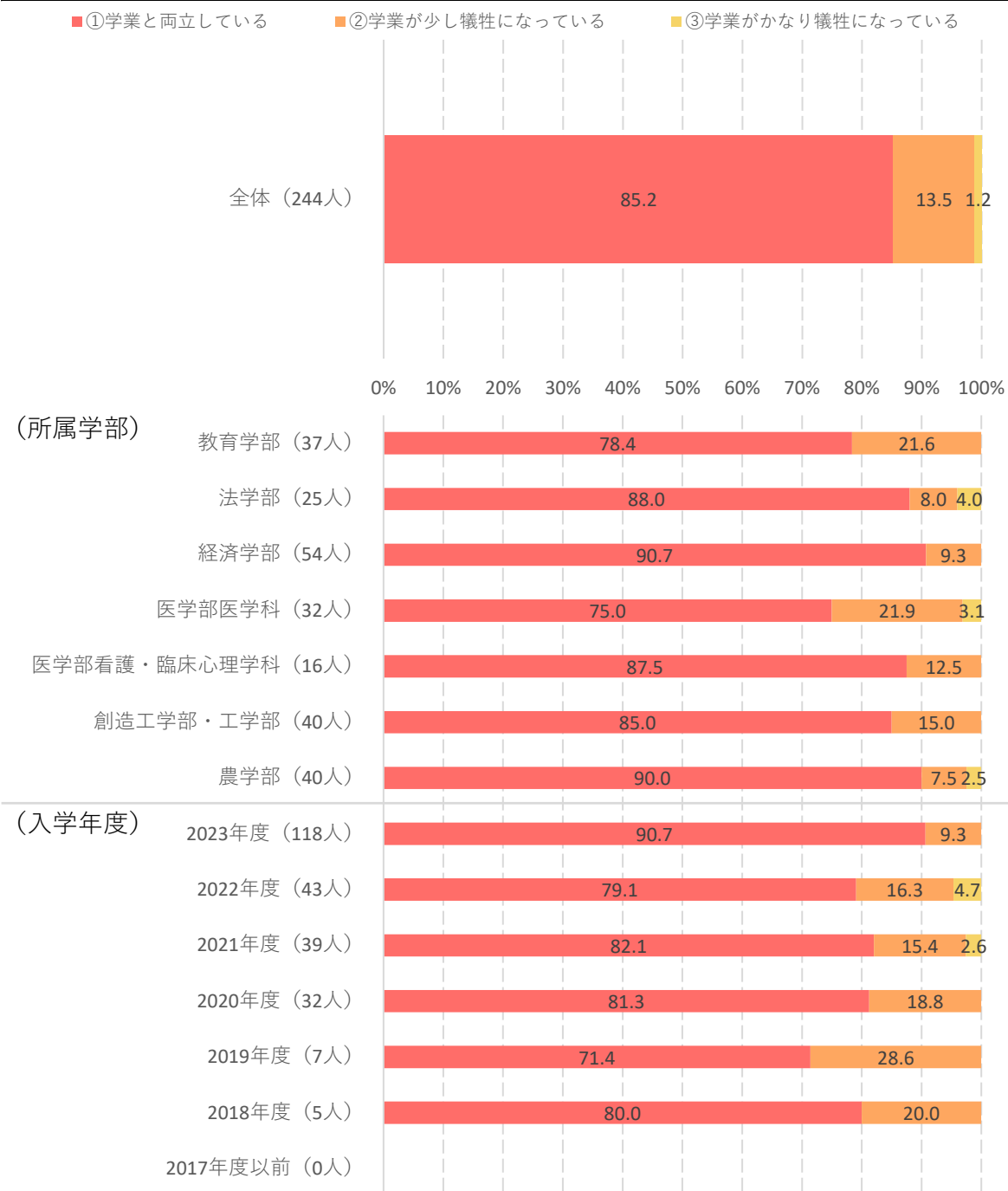
約90%の学生がサークル等の活動に満足している様子でしたが、なかでも医学部看護・臨床心理学科の学生において「満足している」と明確に回答した学生の割合が減少していました。これは、特技を伸ばしたい学生が、仲間づくりを目的とする学生の多いサークル活動に対する満足度が減少している可能性を示唆しているのかもしれませんが。ちなみに、「不満である」と明確に回答した学生の割合は0%でした。



(4) サークル活動と学業の関係

問33 あなたはサークル又は同好会の活動と学業を両立していますか。

サークル等の活動と学業を両立できていると回答した学生が85%を超えましたが、学業がかなり犠牲になっていると回答した学生も1%存在しました。所属学部別にみると、法学部、医学部医学科、農学部に「学業がかなり犠牲になっている」と回答した学生がいました。学生自身、自覚して対応できれば問題ないのですが、これらの課外活動によって学業が疎かになることのないよう留意する必要があるかもしれません。



(5) サークルに加入しない理由

問34 あなたがサークル又は同好会に加入していない理由は何ですか。

サークル等の活動に参加していない学生を対象に調査した結果、その理由として最も多いのが「魅力的なサークルがない」、次いで「時間的余裕がない」でした。法学部、医学部、創造工学部・工学部、農学部においては「学業の妨げになる」と回答する学生もいました。所属学部による回答者数の差が大きいため、バイアスの影響に注意が必要ですが、学生生活において重要な経験となる仲間との活動、社会参加の機会を適切に活用できるよう対策が必要かもしれません。

- ①学業の妨げとなる
- ②練習がいやである
- ③個人の自由が束縛されるおそれがある
- ④時間的余裕がない
- ⑤魅力的なサークルがない
- ⑥その他

